

大野市の豊かな水資源を守り、EV急速充電器設置で市民の利便性にも貢献

福井県大野市には名水百選の「御清水(おしうす)」をはじめ多くの湧水があり、国土庁の「水の郷百選」にも選ばれている。この豊かな水資源を守るために大野市地下水保全基金への継続支援や、市内のグループ事業所周辺の道路・河川・公園等の清掃を継続して行っている。また、工場にEV急速充電器を設置し、市民に広く開放している。

事業背景

1969年（昭和44年）に福井県大野市の企業誘致を受け、日本コンデンサ工業（現ニチコン）の大野工場（現ニチコン大野株）として進出し、アルミ電解コンデンサの製造を開始した。その後、1999年（平成11年）にアルミ電解コンデンサ用電極箔を製造するニチコンの富田工場（現ニチコン製箔株富田工場）を、さらに2000年（平成12年）には導電性高分子アルミ固体電解コンデンサを製造するニチコン福井株（現ニチコン大野株第二工場）を設立し、現在市内にて3事業所が稼動している。

技術者の採用背景

- 地元周辺大学との産学連携により、自社技術の研ぎ澄ましやイノベーションに向け社外の知識の活用を図っている。
- 技術者はニチコン本社にて採用し、それぞれの事業所に配属される。地元比率は約25%である。

地域振興活動

■大野市民の財産である地下水の保全

2000年（平成12年）10月、大野市からこの地域の良質で豊かな地下水保全のために基金設立の意向があり、グループを挙げてのISO14001の取得など、環境に配慮した生産活動を標榜しているニチコングループの考え方方が大野市の施策に呼応するところもあり、基金の設立時に1,000万円を、その後も毎年100万円の寄贈を続けることで、大野市民の財産である地下水の保全に協力している。大野市には名水百選の「御清水（おしうす）」をはじめ多くの湧水があることから、国土庁の「水の郷百選」にも選ばれており、「この豊かな水資源を地域の宝として後世に引き継ぐための一助となれば」とグループをあげて支援を続けている。



■事業所周辺の道路・河川・公園などの清掃

地下水保全のための継続支援に加え、各事業所周辺の道路・河川・公園等の清掃を継続して行っている。近時は大野市とタイアップして、公園の斜面や道路の土手の除草・防草シートの敷設・植栽なども実施している。



工場にニチコン製急速充電器を設置し、広く市民に開放

■EV急速充電器を設置し、市民に広く開放。非常時での給電設備としても使用。
産業フェア等にて地元電気工事業者と当社商品であるEV用充電・給電システム「EVパワー・ステーション」や急速充電器等のPRを行うとともに、工場にEV急速充電器を設置し、市民に広く開放している。充電・給電システムは環境配慮型であるばかりか、非常時での給電設備としての機能も有している。

